

HoPE12月例会のご案内

(一社)北海道中小企業家同友会
産学官連携研究会 HoPE

共催／(地独)北海道立総合研究機構 産学官連携研究会 HoPE

HoPE12月例会のご案内をお送りします。

廃棄物処理業で培った「蒸煮(じょうしゃ)」技術を活かし、2014年よりシラカバや柳など未利用・低利用木材から家畜(肉牛・乳牛)に必要な粗飼料を製造してきた、(株)エース・クリーン。同社は、研究機関や専門家との研究・開発で高付加価値化させ、蒸煮装置の増設で生産規模も拡大。粗飼料の安定供給と低価格化の実現で、畜産農家の経営安定化を目指してきました。今回は、同社と共に牛の反芻胃メタンによるGHG(温室効果ガス)排出削減を目指し共同研究を進めている皆さんより、最新の実践報告を頂きます。産学官の有機的な連携で社会的課題を解決し、持続可能な社会づくりをどう進めるか、報告をもとにご一緒に考えて参りましょう。お誘い併せてぜひご参加ください。

< テーマ1 > : 「木から牛の餌を作る、林業と畜産業のみらいプロジェクト」

～HoPE会員から産学官連携の最新実践報告～

報告者:株式会社エース・クリーン 代表取締役 中井 真太郎 氏



プロフィール／本社・北見。廃棄物処理業として1976年創業。産学官連携の支援を受け、2014年より蒸煮木質飼料製造を手掛ける。10年が経過し、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」でビジネスイノベーション部門の優秀賞を受賞するなど、その取組が近年注目を集めている。2025年度よりHoPE代表世話人。

< テーマ2 > : 「木質飼料の積極的デザインによる牛肉生産からのGHG低減戦略」

報告者:帯広畜産大学 グローバルアグロメディシン研究センター

准教授 福岡 直希 氏
北海道立総合研究機構 林産試験場 主査 檜山 亮 氏
札幌市立大学 デザイン学部 准教授 古俣 寛隆 氏



プロフィール／同グループは2025年に環境再生保全機構(ERCA)の環境研究総合推進費に採択された。本研究では、反芻胃メタン低減に焦点をあて、木質飼料を肉牛生産に導入する事によるGHG削減効果を定量的に評価するとともに、GHG削減機能をさらに高めた飼料開発を行い、GHG排出を低減する新たな戦略の確立を目指している。(本報告内容は進行中の環境研究総合推進費【2MF-2501】課題の研究内容に基づくものです。)

HoPE1月例会／2026年1月14日(水) 16時より開催します。

詳細は追ってご案内致します。今からぜひご予約下さい！

開催
日時

12/10 (水)

16:00 ～ 17:30

※どなたでもご参加いただけます。

会場

- ①Zoomによるオンライン参加 (定員100名)
②道総研プラザ1階セミナールーム (定員30名)
(札幌市北区北19条西11丁目TEL:011-747-0200)

参加費
無料締切 12/5 (金)
(交流会はありません)

参加申込書

FAX、もしくはメールにてお申し込みください。申込先> hope@hokkaido.doyu.jp

貴社名(所属)	役職	氏名	いずれかに○を	備考
			Zoom・来場	
			Zoom・来場	

オンライン参加の方に、ZoomミーティングIDをお送りします。メールアドレスをご記入ください。

■送信先メールアドレス：

@

お問い合わせは：(一社)北海道中小企業家同友会事務局(担当：小村)
〒060-0906 札幌市東区北6条東4丁目1-7 デ・アウネさっぽろビル13階
TEL：011-702-3411 FAX：011-702-9573

産学官連携 HoPE 検索

